

平成30年度とくしま教育の日（教育週間）実施事業について

とくしま教育の日（教育週間）について

1 経緯

本県では、「とくしま教育の日を定める条例（平成16.3.31）」により、「県民の教育に対する理解を深めるとともに、学校教育及び社会教育の振興の気運を醸成し、その充実と発展を図る」ことを目的として、11月1日を「とくしま教育の日」、11月1日から7日までの一週間を「とくしま教育週間」と定めている。

この教育週間を中心とした期間には、条例の趣旨にふさわしい教育関係事業を実施することとされており、「とくしま教育週間」に実施される事業を「とくしま教育週間事業」、「とくしま教育週間」に前後する期間（教育週間を除く10・11月）に実施される事業を「関連事業」としている。

県主催事業をはじめ、教育団体や各学校等の協力のもと、今年度は全体で1,040事業の実施を予定している。

2 とくしま教育の日（教育週間）シンボルマーク



（平成24年度に一般公募により決定）

ロケットのように上昇する鉛筆は、未来への希望を表し、三色の交わり合った輪は、学校・家庭・地域が一体となって徳島の教育の充実と発展に取り組むという思いが表現されている。

とくしま教育の日

このシンボルマークは、「とくしま教育の日」に関する事業の啓発のためのマスコットとして作成したものである。ホームページや広報紙、実施事業のチラシ等各種印刷物に掲載するなど、幅広い活用を促している。

平成30年度とくしま教育の日（教育週間）実施事業について

実施予定の事業数は、全体で1,040事業となっており、その主催団体別及び事業区分別の内訳は、次のとおりです。

(1) 主催団体別内訳

①県・県教育委員会	239事業	(教 26・関213)
②県立学校	139事業	(教 35・関104)
③市町村・市町村教育委員会	603事業	(教135・関468)
④関係団体	31事業	(教 4・関 27)
⑤私立学校	7事業	(教 2・関 5)
⑥その他（複数）	21事業	(教 2・関 19)
計	1,040事業	(教204・関836)

(2) 事業区分別内訳

①オープンスクール	341事業	(教 99・関242)
②文化・芸術	258事業	(教 39・関219)
③スポーツ・健康	100事業	(教 12・関 88)
④子育て・地域社会・生涯学習等	143事業	(教 23・関120)
⑤環境活動	18事業	(教 3・関 15)
⑥国際関係	11事業	(教 2・関 9)
⑦人権・福祉	46事業	(教 8・関 38)
⑧科学・産業等	8事業	(教 1・関 7)
⑨野外活動	47事業	(教 8・関 39)
⑩学園祭	55事業	(教 7・関 48)
⑪学校教育・教育行政全般	13事業	(教 2・関 11)
計	1,040事業	(教204・関836)

※教→教育週間事業：教育週間(11月1日から7日)に実施予定の事業

※関→関連事業：教育週間に前後する期間(教育週間を除く10・11月)に実施予定の事業

平成30年度とくしま教育の日（教育週間）実施事業の概要

【徳島県・徳島県教育委員会 主催事業】

○第38回 近畿高等学校総合文化祭徳島大会

(11/10～25 アスティとくしまほか)

近畿2府8県（徳島、京都、奈良、滋賀、和歌山、三重、福井、鳥取、兵庫、大阪）の高校生が集い、芸術文化活動の成果を発表し、交流する。

○高校生野外文化フェスティバル（近畿高等学校総合文化祭 関連イベント）

(11/17 文化の森総合公園内すだちくん森のシアター)

平成30年4月に「すだちくん森のシアター」としてリニューアルオープンした、文化の森野外劇場を舞台に、高校生が日頃の文化活動を披露する。

○第4回 高大接続改革フォーラム (10/6 徳島大学常三島けやきホール)

高大接続システム改革会議が行われ、高等学校教育の改革、大学教育の改革、大学入学者選抜の改革が一体的に進められようとしている今日、徳島県内の大学と高校が改革の提言に沿った生徒・学生の資質・能力をいかに育成していくかについて、継続的に研究することを目的に開催する。

○イングリッシュ・キャンプ (10/27～28 美馬市 11/10～11 牟岐町)

公立中学校の生徒が県内に在住する外国人（留学生、ALT（外国語指導助手））との交流を通して、コミュニケーション能力の基礎の育成に寄与するとともに、広く世界に目を向ける姿勢や国際協力の精神を養い、グローバル人材の育成を図る。

○書評合戦「ビブリオバトル」

・全国高等学校ビブリオバトル2018徳島県大会 (10/28 総合教育センター)

・第2回中学・高校・大学生「書評合戦」 (11/25 総合教育センター)

「本をとおして人を知る・人を通して本を知る」というコンセプトのもと、参加者全員によるコミュニケーションを目的とする知的書評ゲーム「ビブリオバトル」をとおして、読書活動の魅力を伝え合う。また、読書活動の充実へとつながる「おすすめ本」語り合い活動を普及させる機会とする。

○高校生産業教育展 (11/10 イオンモール徳島)

職業教育に関する学科等で学ぶ高校生が、日頃の学習成果を紹介し、学校独自の特色ある教育活動と産業教育の魅力を広く県民にアピールする。

○第3回ジュニア浄瑠璃フェスティバル (11/18 城北高等学校人形会館)

阿波人形浄瑠璃に取り組む児童生徒の活動を活性化させ、伝統芸能に取り組む若い世代を増やし、技術向上と文化財保護の高揚を図るために開催する。

○まなびの丘フェスティバル2018 (11/3 総合教育センター)

徳島県立総合教育センターへの県民の理解を深めるとともに、体験学習、講演会、発表会、展示等の諸行事を通して、県民のまなびを支援し、地域社会との交流を促す。徳島県立総合大学校奨励賞交付式及び記念講演も開催。

【県立学校 主催事業】

- オープンスクール（公開授業等）
- 学校祭・体育祭
- 講演会
- 防災キャンプ
- 中学生体験入学 など

【市町村・市町村教育委員会 主催事業】

- オープンスクール（公開授業等）
- 文化祭、体育祭等の学校行事の開催
- 人権学習
- 地域社会における交流・生涯学習関連事業の実施
- 文化・芸術関連事業の実施
- スポーツ大会等の実施
- 野外活動
- 環境活動 など

【関係団体 主催事業】

- 公民館
 - ・人権学習会
 - ・英会話教室や音楽・絵画教室等の文化的講座
 - ・阿波踊り体操教室やスポーツ教室等の体育的講座 など
- 図書館
 - ・絵本等の読み聞かせ会や各種お話会 など
- 各種教育関係団体
 - ・親子ふれあいフォーラムや人権教育研究大会
 - ・運動会やウォーキング大会
 - ・各種フェスティバル など

【私立学校 主催事業】

- オープンスクール（公開授業等）
- 講演会、作品展 など

とくしま教育の日（教育週間）15周年記念動画について

1 概要

今年度は、「とくしま教育の日」が15周年を迎えることから、15年間の歩みをテーマとした記念動画を作成し、「とくしま教育の日」事業の実施会場等で上映する。

2 動画の構成（イメージ）

「とくしま教育の日を定める条例」が施行された平成16年から平成30年までの15年間において、各年度毎に2～3項目のトピックスを取り上げ、写真及び動画を用いて、ナレーションや字幕を活用した10分程度のPR動画を作成する。

【紹介する取組例】

平成16年3月31日 「とくしま教育の日を定める条例」施行

平成16年度 総合教育センター開設

「とくしま教育の日」である平成16年11月1日、徳島県立総合教育センターがオープンしました。学校や地域・社会での教育に関することを積極的に支援する施設として、「子どもから大人まで」「一人一人にあった」「いつでもどこでも」「身近で頼れる」支援の充実をめざしています。

平成21年度 徳島科学技術高校開校

徳島工業高校、徳島東工業高校および水産高校を発展的に再編統合し、情報化などの様々な社会環境の変化や科学技術の高度化に対応できる人材を育成することを目指す新しいタイプの高校として、徳島科学技術高校が開校しました。

平成23年度 県内の高校に「防災クラブ」を立ち上げ

平成23年度に全国初の公立高校「防災クラブ」を設置して以来、現在全ての県立高等学校で地域と連携した防災ボランティア活動等を通じて、地域防災の即戦力、将来の担い手の育成を図っています。



平成24年度 とくしま特別支援学校技能検定の開始

特別支援学校の生徒たちは、卒業後の社会的・職業的自立をめざし、清掃や接客などの技能を身につけるため、平成24年度から特別支援学校での技能検定に取り組んでいます。

平成25年度 「とくしま教育の日」シンボルマーク誕生

とくしま教育の日が10周年を迎え、さらに多くの方に知っていただくため、一般公募によりシンボルマークが誕生しました。ロケットのように上昇する鉛筆は、未来への希望を表し、三色の交わり合った輪は、学校・家庭・地域が一体となって徳島の教育の充実と発展に取り組むという思いが表現されています。



平成25年度 スーパーオンリーワンハイスクール事業

特色ある教育活動のレベルアップとグローバル人材の育成を目指した学校の取組を支援する事業として始まりました。5年間でのべ30校が、地域課題の解決や海外での活動に取り組み、大きな成果を上げています。



平成27年度 「エシカル消費」推進プロジェクト事業

ふるさと徳島の未来を担う高校生の消費者力を高めることを目的に、近年注目されている人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」について取り組む、「エシカル消費」推進プロジェクトを立ち上げました。城西高校が研究校の指定を受け、地産地消を中心とした「エシカル消費」の推進に2年間取り組み、その成果を県内外に発信しました。



平成28年度 6次産業化プロデュース事業

県下3地域における農業・工業・商業科設置校等の学校間連携により、各地域の生産物をテーマに生産、加工、商品開発、販売について、学科の枠を越えた実践的な協働活動を展開し、地域を担う「6次産業化をプロデュースする人材」の育成に取り組んでいます。



平成29年度 消費者庁作成教材「社会への扉」の活用

消費者庁が作成した教材、「社会への扉」を活用した授業が、全国に先駆けて県内の公立高等学校及び特別支援学校高等部の1年生を中心に開始されました。主体的に判断し、責任を持って行動できる力の育成に取り組んでいます。



平成30年度とくしま教育の日（教育週間）の広報について

各団体において、次のとおり広報活動を実施する。

実施団体	媒体名・内容
県教育委員会	とくしま教育の日PR動画 <新規>
	とくしま教育の日懸垂幕
	とくしま教育の日広報パネル
	とくしま教育の日ホームページ
	LINEによる発信
	啓発資料の配布による直接的な周知
	県教育委員会ホームページ
	マスコミへの情報提供
	県広報紙等の活用
	教育通信ふれあい広場（公立小中高特別支援学校の保護者向け広報紙）にて、とくしま教育の日の特集記事
県立高校	各学校のホームページへの掲載
	パンフレット・ポスターの作成、配布
	各種文書を活用して、とくしま教育の日の周知
市町村・市町村教育委員会	各市町村のホームページへの掲載
	各市町村の広報誌への掲載
各団体	各団体のホームページへの掲載
	パンフレット・ポスターの作成、配布

とくしま教育の日を定める条例（平成十六年三月三十一日徳島県条例第三十五号）

（趣旨）

第一条 県民の教育に対する理解を深めるとともに、学校教育及び社会教育の振興の気運を醸成し、その充実と発展を図るため、とくしま教育の日を設ける。

（とくしま教育の日）

第二条 とくしま教育の日は、十一月一日とする。

（とくしま教育週間）

第三条 第一条の趣旨にふさわしい取組を行う期間として、十一月一日から同月七日までをとくしま教育週間とする。

（事業等）

第四条 県は、とくしま教育週間において、第一条の趣旨にふさわしい事業を行うものとする。

2 県は、県民及び市町村その他の団体に、とくしま教育週間を中心として、第一条の趣旨にふさわしい事業を行うよう協力を求めるものとする。

3 県は、前二項の規定により行われる事業について、広く県民に参加を呼びかけるものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。（平成十六年三月三十一日施行）